

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

7月2日(木)に令和8年度の第1回総合教育会議が開催されましたので、ご報告します。

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/page/5059.html>

1. 新教育振興大綱の策定について(資料 1) <https://www.city.ichikawa.lg.jp/uploaded/attachment/55099.pdf>

現在の大綱は、令和8年度までが計画期間であるため、令和9年度からの新たな大綱を策定します。
また、新たな大綱を踏まえた、新たな教育振興大綱具体化パッケージを策定します。

2. 新教育振興大綱の基本方針(素案)について(資料 2) <https://www.city.ichikawa.lg.jp/uploaded/attachment/55103.pdf>

新たな大綱の策定に向けて、大きく以下の2点を提案させていただきました。

① 将来像として、～市川クオリティ・ロゴス～「言葉の力で 未来を拓く 市川の教育」

昨年度、策定された具体化パッケージでは、将来像として、「～市川クオリティ・ロゴス～「言葉の力で 未来を拓く 市川の教育」」を掲げました。この考えをさらに推進していくため、新たな大綱における本市教育の将来像にしたいと考えています。

② 社会教育の明示

市民活動の基盤を支える地域コミュニティを維持・活性化させるためには、若者を含む社会教育人材を中心に、社会教育施設や様々な場において、人づくり・つながりづくり・地域づくりを進めることが重要です。新たな大綱では、社会教育についても明示的に示して、力を入れていきたいと考えています。

3. 教育委員の意見

大綱の策定に向けて、教育委員から意見をいただきました。主なものは以下の通りです。

- ・ 将来像の「言葉の力」について、「読む、聞く、話す、書く」以外の様々な表現をする子どもがいることを踏まえて、説明を丁寧にしなければならない。
- ・ 「自分の考えや気持ちを自分の言葉で表現し、他者に伝える力」がこれからの社会の一員として生きる中で何よりも大切な力であり、英語のみならず、国語をはじめ、すべての教科でこういった力を培うような取り組みを推進するべき。
- ・ 大人になってからも、社会で生きていく中で必要な知識は日々変わっていくが、主体的でなくても必要な知識が見つけれられるような環境づくりが重要である。
- ・ 規則正しい生活習慣が重要であり、規則正しい生活を送れば、良好な睡眠が取れ、成長ホルモンも十分に分泌されるようになる。
- ・ 幼児期の遊びを通じた学びが基盤となって、小学校以降の学校教育における探究的な学びへと発展・展開される。

4. 市長の意見

教育委員の後に、田中市長からも意見をいただきました。主なものは以下の通りです。

- ・ 前の教育長から積み上げてきた現在の市川市の教育を基盤として、新たな教育の姿を時代に合わせて子どもたちのためにつくりあげていく。
- ・ 大事なことは、子どもたちのためにどうあるべきか、そして、子どもたちに向き合っている現の教師がどのように対応していけるのか。
- ・ 人口が減少し、少子化が進行していく時代だからこそ、より丁寧に子供たち一人ひとりに向き合い、個性や可能性を伸ばしていく教育が重要。
- ・ 市立の高等学校は、特色のある学校の魅力をつくり出して、公立の小学校・中学校を卒業した子どもたちが1つの目標にできるものを目指したい。インターナショナルバカロレア認定校であると同時に、市川市のみならず、時代が求める環境問題や福祉の問題などを学んでいく場にもなってほしい。
- ・ 一部の選ばれた人たちが国際大会で活躍するというだけでなく、市川市の学校において心身ともに成長することができる環境を作っていかなければならない。
- ・ 特別支援学校の増設を実現する。

5. 業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について(資料3) <https://www.city.ichikawa.lg.jp/uploaded/attachment/55105.pdf>

教育長通信 No.46 でお伝えしたように、教師の働き方改革を推進するため、法律に基づき、教育委員会として「業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定して、総合教育会議で報告しました。